

新しい
展示作品が登場！
大沢温泉で待ってるよ

歴史ある菊水館がジブリの世界と調和する
茅葺き天井、障子戸ガラス、川のせせらぎ、湯のけむり
鈴木が愛した原風景がここにある。

もう
ひとつの

鈴木敏夫とジブリ展

鈴木が愛した風景写真

2024

4/13(土) 12/8(日)



公式サイト

大沢温泉 | 菊水館 昔ギャラリー「茅ちがや」茅葺きホール

開館時間=午前8時30分～午後5時30分
(入館は午後5時まで)

休館日=不定休(展示公式サイトをご確認ください)

入館料=大人500円/中学生以下無料

【駐車場利用についてのご注意】

●宿泊・温泉施設をご利用されず、本展のみご覧いただくお客様は、専用または臨時駐車場のご利用をお願いいたします。その他の大沢温泉内の駐車場はご利用になれません。
●専用または臨時駐車場の場所は裏面のMAPをご確認ください。●土日祝祭日は混雑が見込まれます。

お問い合わせ | 株式会社大沢温泉

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字大沢181

TEL: 0198-25-2021 受付時間: 午前8時～午後7時

URL: <https://www.oosawaonsen.com>

主催=株式会社大沢温泉 特別協力=スタジオジブリ



大沢温泉HP



©Studio Ghibli ©1988 Hayao Miyazaki ©2023 Toshio Suzuki



©2022 Hayao Miyazaki - Kanyada

写真家

Kanyada Phatan
(カンヤダ・プラテン)

PROFILE

タイ出身の写真家。
スタジオジブリが日本で発行している月刊小冊子「熱風」にて「From Pak -Thong Chai」を連載中。毎月一枚の写真と詩を寄稿している。著書に『KANYADA、ジブリパークをゆく』、『KANYADA』、『ジブリ美術館ものがたり』、共著書に『どこから来たのかどこへ行くのかゴロウは?』、『ジブリの鈴木さんに聞いた仕事の名言。』がある。本展で使用されているメインビジュアルも、手掛けたアートワークのひとつ。

スタジオジブリ・プロデューサー

鈴木 敏夫

PROFILE

1948年、名古屋生まれ。
慶応義塾大学文学部卒業後、徳間書店入社。『アニメージュ』の創刊に参加し、副編集長、編集長を務めたかわら、高畑勲・宮崎駿作品の製作に関わる。
1985年にスタジオジブリの設立に参加、1989年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品をプロデュースする。
現在、株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。

もうひとつの
鈴木敏夫とジブリ展
鈴木が愛した
風景写真

宮沢賢治や高村光太郎が訪れた歴史ある温泉宿。昨年リニューアルオープンした、岩手県花巻市の大沢温泉敷地内にある南部藩かやぶき菊水館 昔ギャラリー「茅」。
スタジオジブリ・プロデューサーの鈴木敏夫が、自身がこよなく愛する大沢温泉を応援するため、特別展示を発案。約40mの巨大な茅葺き屋根のもと、タイに住む写真家Kanyada (カンヤダ) の目線でとらえた、ジブリの世界の風景写真を展示します。
本展では、全国を巡回中の「鈴木敏夫とジブリ展」から飛び出した写真たちに、展示のため撮り下ろされた数々の新作が加わります。情緒豊かな大沢温泉。カンヤダの故郷、タイのパクトンチャイ。新エリアが登場したジブリパークなどなど。昨年ご好評いただいた空間が、さらに見応えのある展示となって登場。
ここでしか見られない、温泉宿とジブリの世界をお楽しみください。マックロクロスケにトトロたちも、お宿でお待ちしております。



南部藩かやぶき 菊水館
昔ギャラリー 茅

●展示のみご利用いただく方は、高明橋を渡り正面玄関へお越しください。●大沢温泉内で宿泊・温泉施設をご利用の方は、館内からも曲り橋を通り、正面玄関へお越しいただけます。●菊水館の温泉はご利用になれません。お手洗いは、本展示会場の茅葺きホール内でのみご利用いただけます。



〒025-0244 岩手県花巻市湯口字大沢181



※専用駐車場から展示会場(菊水館)までは徒歩5分前後となります。